

社会科学習の手引き

■ はじめに

社会科学は、いろいろな資料を調べることを通して、私たちが生活している地域や、日本や世界の各地域の自然や産業の特色について学んだり、日本や世界の歴史について考えたり、社会のしくみや課題について知ったり話し合ったりする教科です。たくさんある教科の中でも、**皆さんの生活と最も強く結びついている教科**でもあるでしょう。

ところで皆さんは社会科学にどのようなイメージがありますか？得意で楽しく勉強できている人もいれば、暗記ばかりのようで苦手…と感じている人もいるかと思います。まずは自分の現在地を確かめてみましょう。



① なんで社会科学を学ぶ必要があるの？

社会科学は暗記ばかりでつまらない！なんで勉強しないといけないのか分からない！そう思いませんか？実は社会科学はとっても重要な科目なんです！そこで社会科学を学ぶ意味を確認してみましょう。

「知識をつけて世の中を賢く生きるため」「人生をより豊かなものにするため」など、どれも社会科学を学ぶ上で重要な考えだと思いますが、一言でまとめるなら「**これからの社会を生きていく人間として必要な能力や態度を身に付けるため**」だと言えます。

それでも、いまいちピンと来なかったら、ここで佐渡の考える例え話を参考までに。

世の中を「テニス」に例えてみましょう。テニスでは仲間とのコミュニケーションが大切ですよ、そこで学ぶのが国語です。言葉を使って表現しますよね。そして、相手チームとの交流が英語にあたるかと思えます。さらに試合や練習のデータの記録に必要なのが数学だとすれば、プレー向上のための物理的技術や道具の研究が理科だといえるでしょう。

では、社会科学はどうでしょうか。社会科学は「**テニスコートのつくりやルールそのもの、これまでの全てのプレーと練習の経験**」です。テニスコートがどんな大きさと、ネットはどんな高さで、コートはどんな素材で…これらのフィールドの情報を学ぶのが「地理」であり、テニスのルールや仕組みを学ぶのが「公民」だと言えます。そして過去の経験をもとに次はどんなプレーをしたら良いか自分自信を見つめ直したり、相手の過去の記録を分析し対策をしたりするのが、まさに「歴史」ではないでしょうか。つまり、**社会科学を学ばなければ、他の教科でせっかく力を身に付けても、「テニス」の試合が成立しない、つまり世の中が上手いかなくなってしまいます**のです。

こんなイメージを持って「社会科学」という科目を見直したとき、すごく重要な教科だと感じませんか？この例えはあくまで一つの参考程度に、これから一緒に社会科学をより楽しんで学んでいきましょう。

② どんな力をつけていけばいいの？

中学校の社会科は、**地理・歴史・公民**の3分野から成り立っており、1・2年生では地理と歴史の学習を行い、3年生では歴史と公民の学習をします。これらの学習を通して、次のような力を身に付けていきましょう。

- ・基礎的な知識
- ・情報を収集、整理、伝達する力
- ・論理的に説明する力
- ・資料から手がかりをつかみ、それを自分の知識と照らし合わせながら論述する力



様々な活動を通して、これらの力を身に付けていけるように一緒に頑張っていきましょう。

③ どのように学習にのぞめばいいの？

中学校社会科で必要な力を身に付けるために、どのような方法で授業や家庭学習に取り組めばよいかについて説明します。

まずは、基本的な授業の流れについてです。



②で確認した力を身に付けていくために、毎回の授業での**調べ学習と情報共有の活動を大切に**していきましょう。その際に重要なのが、「**資料の活用**」です。課題の解決に必要な**資料を自分で選択したり、複数の資料の比較からものごとを多角的にとらえたりする**ことで、だんだんと力がついていきます。

家庭学習については、ワークやキュービナでの問題演習を中心に分からなかったところを振り返ったり、知識をつけ足したりして授業での学習をより深いものにしていくことを意識して繰り返し取り組んでいきましょう。

④ 評価について

皆さんの学習は、以下のことを中心に評価します。自分なりに疑問を持って、探求していく姿を期待しています。

- ・授業の様子（発言、話し合いの様子、まとめの記述など）
- ・テスト
- ・単元末の成果物（レポート、発表に使った資料など）

なにより**楽しんで**社会科を学んでいきましょう!!